

ダム湖の貯水率低下に伴う渇水対策本部の設置について

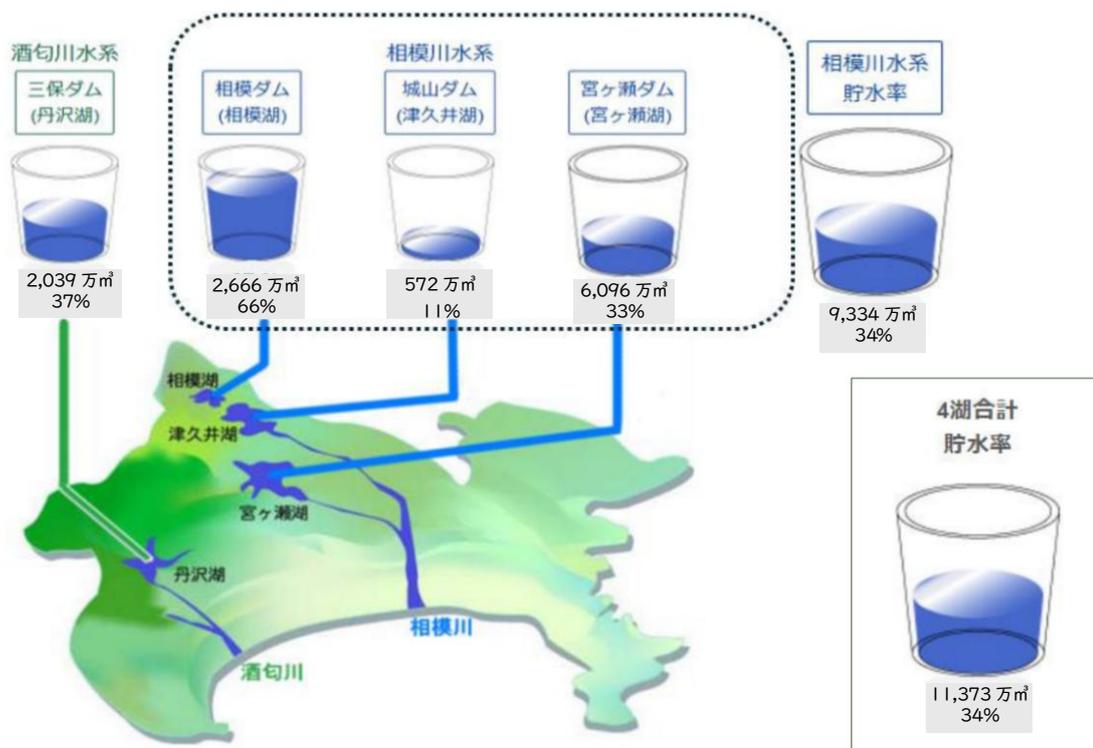
昨年来の長期にわたる少雨により、「かながわの水がめ」である県内4湖（相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖、丹沢湖）の貯水率が例年に比べて大きく低下しています。

このため、構成団体水道事業者（神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市）に水道用水を供給している神奈川県内広域水道企業団では、企業長を本部長とする「渇水対策本部」を設置し、構成団体水道事業者と連携して渇水対応に取り組めます。

気象庁の予報では、今後3カ月は平年並みの降雨に留まるとされています。水を大切にお願いいたします。

1 かながわの水がめの状況

3月1日時点の合計貯水量は、約1億1千万 m^3 （貯水率34%）となっており、例年の44%程度となっています。



神奈川県企業庁 HP「県内の貯水状況」（令和8年3月1日時点）をもとに作成
https://kanagawa-dam.jp/web_data/news_mizugame.html

